第 15 回 開校準備委員会 について

第１５回開校準備委員会では、以下２つの案件についてご検討いただく予定です。

案件

１．（仮称）交野みらい学園の校歌について（２～４ページ）

２．（仮称）交野みらい学園の校章について（５ページ）

大変お忙しい中、会議前の資料確認をお願いしており、お手数をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

校歌 ← 第 15 回は、制作に向けた方向性を確認する重要な会議です。

校章 ← 第 15 回の会議が最終選考になります。
（校章の検討は、次回の会議が最終の予定です。）

【 重要 】

第１５回開校準備委員会には、以下の資料をご持参ください。

・この資料（第１５回　開校準備委員会について）
・（仮称）交野みらい学園の校歌に入れたい歌詞・フレーズ応募結果一覧　（今回送付している別紙の資料）
・校章デザイン案のアンケート調査結果
（前回（第１４回）配布資料）

１．（仮称）交野みらい学園の校歌について

前回の第１４回開校準備委員会では、校歌制作を依頼する専門家の第１候補として、“地域の専門家”をご選定いただきました。

その結果を受けまして、前回お名前が挙がっておりました地域の専門家３名に、事務局から校歌制作に係るご依頼をさせていただいたところ、３名全ての方からお引き受けいただけるとのお返事をいただくことができました。（３名でご協力いただきながら作成いただくということでご了承をいただきました）

校歌制作　⇒　地域の専門家３名　で決定
（中山 尚美さん、芝原 敬子さん、伊藤 裕子さん）

そこで、第１５回開校準備委員会では、地域の専門家に「（仮称）交野みらい学園」の校歌を制作していただくにあたり、**校歌制作の方向性（素案）**について、委員の皆様にご確認いただくとともに、ご意見をお伺いしたいと考えております。

校歌制作の方向性（素案）は、事務局と地域の専門家３名で打ち合わせを行った際の内容を取りまとめたもので、３ページに記載のとおりです。

また、**（仮称）交野みらい学園の校歌に入れたい言葉・フレーズの募集結果**については、以下のとおりとなりました。こちらについても、３ページに記載のとおり第１５回会議でご意見をお伺いする予定としておりますので、事前にご確認くださいますようお願い申し上げます。

募集期間：令和３年６月７日（月）～ ６月３０日（水）
募集対象：第一中学校区の小中学生、卒業生、保護者、教職員、地域住民
応 募 数：１１１点　　応募者数：５３名
応募結果：別紙「（仮称）交野みらい学園の校歌に入れたい言葉・フレーズ応募結果一覧」　のとおり

「(仮称) 交野みらい学園」校歌制作の方向性（素案）

【歌詞制作のイメージ】

交小、長小、一中の校歌もすべて３節構成
※一般に校歌の１番、２番、３番という構成のことで、校歌が３番まであるということ。

① **３節構成**

② 各節の作詞 ⇒ **「(仮称) 交野みらい学園」のメインコンセプトをテーマに作詞**（４ページに記載）

第１節：情（こころ）
第２節：森
第３節：英知・探求

③ 公募でいただいた校歌に入れたい言葉・フレーズの中から、②に記載の**各節のテーマにあったものをいくつか使用しながら歌詞を制作。**

第１５回では、校歌に入れるのにふさわしくないと考えられる言葉・フレーズ等がないかご確認いただきたいと考えています。
当日は、会議の時間が限られておりますので、応募のあった言葉・フレーズ（別紙）について、事前にご確認いただきますようお願い申し上げます。

【曲制作のイメージ】

① **前向きで明るくポップなイメージ**

参考

「（仮称）交野みらい学園」のメインコンセプト

【メインコンセプト】

情（こころ）の森、英知の庭、探究の学び舎
～グローバルコミュニケーションスクール～

情（こころ）

交野市学校教育ビジョンの基本理念に『情（こころ）の育み』とあるように、小学校１年生から中学校３年生までの児童生徒が９年間、共に学び、共に育ち、交流する中で、上級生へのあこがれ、下級生への慈しみの『情（こころ）』を養うことを大切にします。

交野の豊かな自然にちなみ、交野における教育の取組みを「森」としてみたて、「心」だけでなく「情（こころ）」を養える「森」を育みます。

森

交野の豊かな自然にちなみ、交野における教育の取組みを森にみたてる教育大綱の「教育百年の森の実現」より設定します。

交野小学校の豊かな自然を大事にする心・森、百年の森をイメージし、「生きる力を養い多様性に富んだ人材の育成」をめざす森として、一人ひとりが９年間の学びを通して仲間を増やし大きく育っていくような場としていきます。

英知

『英知』とは、「深遠な道理を知りうるすぐれた知恵」です。
郡津一の宮といわれ、白鳳時代に当地に置かれた交野郡衙の郡司により創建されたと言われる長宝寺で郡衙の役人たちが学んでいたように、この学び舎で『英知』を磨いていける場とします。

９年間の学びを一体のものととらえ、学びの連続性を意識した中でこれからの社会を生きる子どもたちに、新たな発見や考え方を生み出すための環境づくりを進めます。

また、グローバル社会が進展し、多様な文化と関わる機会が増えている今日においては、語学力だけではなく、異なる価値観を持つ人たちの中で、意見の違いを統合して「みんなの知力の質」を高める能力（グローバル・コミュニケーション能力）を身に付けるための環境づくりを進めます。

探究

『探究』とは、「物事の真の姿・あり方をさぐって見きわめること」です。

異なる価値観を持つ人たちの中で意見の違いを統合して「みんなの知力の質」を高める『グローバルコミュニケーション』能力を持ち合わせ、『情（こころ）』と『英知』をもって真理を追究する若者が、施設一体型小中一貫校という新しい学校で伝統を紡いでいけるような環境づくりをすすめます。

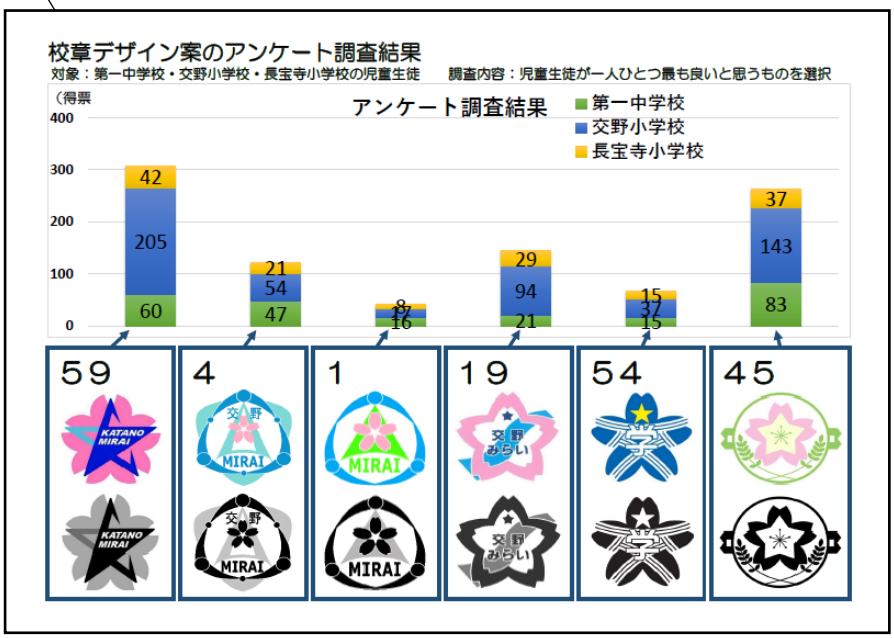
「交野市立第一中学校区　魅力ある学校づくり事業　基本方針・基本計画」
令和２年３月交野市教育委員会　３５ページより

２．（仮称）交野みらい学園の校章について

３校（交小、長小、一中）の児童生徒を対象に実施したアンケート調査の結果を参考にしていただきながら、**二次選考（最終選考）**として「（仮称）交野みらい学園」に最もふさわしい校章をひとつに選定していただく予定です。

会議当日は、グループで意見交換等をしていただきながら、選考を行っていただく予定としています。

事前に資料をご確認いただき、児童生徒へのアンケート調査の結果も参考にしていただきながら、「（仮称）交野みらい学園」にふさわしいと思う校章を各自、お考えいただきますようお願い申し上げます。

なお、実際に校章を使用する際には、カラーではなく白黒で使用する場面も多いと考えられることから、二次選考の対象デザイン案については、応募者に白黒版の提出をお願いしました。※児童生徒へのアンケートでも、カラー・白黒両方提示

次回の第 15 回会議には、前回お配りしました（A3）3 枚ものの資料「校章デザイン案のアンケート調査結果」を持参ください。